鎌倉(かまくら)文化と産業の発達

美術	彫刻	東大寺南大門(とうだいじなんだいもん) 金剛力士像(こんごうりきしぞう)（運慶(うんけい)・快慶(かいけい)ら）
	絵巻物	「蒙古襲来絵詞(もうこしゅうらいえことば)」「一遍上人絵伝(いっぺんしょうにんえでん)（一遍聖絵(ひじりえ)）」
	似絵(にせえ)	「後鳥羽上皇像(ごとばじょうこう)」
文学	軍記物	「平家物語(へいけものがたり)」（琵琶法師(びわほうし)たち）
	随筆(ずいひつ)	「方丈記(ほうじょうき)」（鴨長明(かものちょうめい)） 「徒然草(つれづれぐさ)」（兼好法師(けんこうほうし)）
	和歌集	「新古今和歌集(しんこきんわかしゅう)」（藤原定家(ふじわらのさだいえ/ていか)ら） 「金槐和歌集(きんかいわかしゅう)」（源実朝(みなもとのさねとも)） 「山家集(さんかしゅう)」（西行(さいぎょう)）
建築	東大寺南大門（大仏様(だいぶつよう)，雄大で力強い）	
	円覚寺舎利殿(えんがくじしゃりでん)（禅宗様(ぜんしゅうよう)，簡素で整った形）	

ポイント１　背景と特徴

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 背景

鎌倉幕府の成立と発展

② 特徴

公家文化と武家文化の並立

貴族（公家）中心の伝統文化を受け継ぎながら，
素朴(そぼく)で力強い武士（武家）の文化を反映

ポイント2　建築・彫刻・絵画・文学・和歌集

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

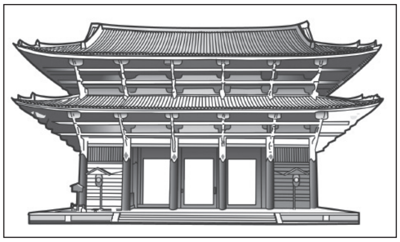
① 建築

宋の様式を取り入れた建築

大仏様：**東大寺南大門**（奈良県）

禅宗様：円覚寺舎利殿（神奈川県）

資料1 東大寺南大門



※イラスト

② 彫刻

東大寺南大門の両側には

運慶・快慶らの仏師によって作られた

金剛力士像が安置されている

資料2 金剛力士像

※イラスト

③ 絵画

絵巻物：「蒙古襲来絵詞」

「一遍上人絵伝（一遍聖絵）」

似絵　：写実的な肖像画

「後鳥羽上皇像」

資料3 蒙古襲来絵詞

④ 文学

「**平家物語**」：琵琶法師たちによって語られた軍記物

「**方丈記**」：**鴨長明**が書いた随筆

「**徒然草**」：**兼好法師**が書いた随筆

⑤ 和歌集

「**新古今和歌集**」：後鳥羽上皇の命令で藤原定家らが編纂した勅撰和歌集

「金槐和歌集」：鎌倉幕府3代将軍源実朝の和歌集

「山家集」：武家出身の僧である西行の和歌集

ポイント3 新しい仏教

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

戦いや自然災害などが続いたため，
皇族・貴族だけでなく武士・庶民なども
新しい仏教に救いを求める
↓
新仏教は念仏・坐禅（ざぜん）・題目（だいもく）のうち一つを選び打ち込めばよく，
分かりやすかったため，多くの人々に広がった

	浄土（じょうど）宗（念仏）	浄土真（じょうどしん）宗（念仏）	時（じ）宗（念仏）	臨済（りんざい）宗（坐禅）	曹洞（そうとう）宗（坐禅）	日蓮（にちれん）宗（題目）
開祖	法然（ほうねん）	親鸞（しんらん）	一遍（いっぺん）	栄西（えいさい）	道元（どうげん）	日蓮
主な寺院	知恩院（ちおんいん）（京都）	本願寺（ほんがんじ）（京都）	清浄光寺（しょうじょうこうじ）（神奈川県）	建仁寺（けんにんじ）（京都）	永平寺（えいへいじ）（福井県）	久遠寺（くおんじ）（山梨県）
主な信者	貴族・武士 民衆	地方の武士 民衆	都市の民衆	幕府の有力者	北陸を中心とする地方の武士	都市の武士 商工業者

ポイント4 産業の発達

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 農業の発達

米の収穫後に麦を栽培する 二毛作（にもうさく） が
西日本を中心に広まる

牛や馬の利用
草や木の灰を肥料として使用
鉄製農具の普及などが進む

② 手工業と商業の発達

各地に手工業の職人が登場

月3回の **定期市** が寺社の門前や交通の要地で開かれる

行商人のほか，都市には常設の見世棚（みせだな）（店棚）も現れる

商品の中継や運送などにあたる問（とい）（問丸（といまる））が発達する

輸入された **宋銭（そうせん）** が流通し，

借上（かしあげ）と呼ばれる高利貸しも現れる

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 米の収穫後に麦を栽培するなど，同じ耕地で1年に2度，異なる作物を栽培することを何というか。 **二毛作**

(2) 琵琶法師によって語られた軍記物を何というか。 **「平家物語」**

(3) 一心に念仏を唱えれば，誰でも極楽浄土に生まれ変われると説き，浄土宗を開いた人物は誰か。 **法然**

(4) 道元が開いた禅宗の宗派は何か。 **曹洞宗**

(5) 東大寺南大門の両側にある運慶・快慶らの仏師によって作られたものは何か。 **東大寺南大門金剛力士像**

(6) 後鳥羽上皇の命令で藤原定家らが編纂した和歌集は何か。 **新古今和歌集**